

先着 30名様募

# 本物を極める

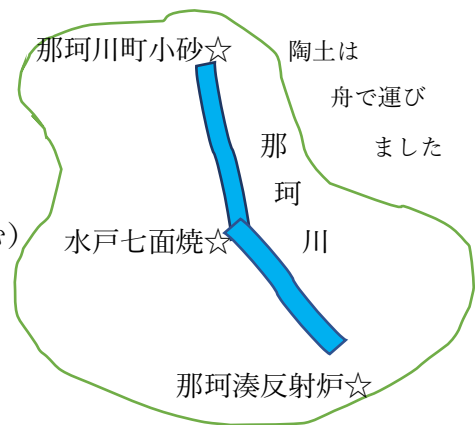
## ゆかりの水戸東照宮で陶芸と茶話会

水戸東照宮の夏祭りに併せて新型コロナウイルスの退散を祈念し、水戸藩のゆかりの焼き物「七面焼」を作ります。

6月25日に舟で運んで来た小砂（栃木県那須郡那珂川町小砂）の陶土で本物作りの真髓を味わいます。

### 開催日

- ◆令和4年7月18日(月・海の日) 於 東照宮
- ◆午前10時から12時30分予定
- ◆祈願料 5,000円(材料費・食事代・茶話会代含む)  
今回・秋(11月12日予定の二回が含まれます)
- ◆城里町下古内茶を使用(県内三大生産地)



### 場所



水戸東照宮は昨年創建四百年を迎えました。  
ここで陶芸教室と茶話会(2回)を行います。

### 講師



七面焼発掘調査から関わる伊藤瓢堂さん(山形銀山温泉)が講師です。  
陶芸家・水戸史学会会員。

### 古内茶



時代は安政年間。尊王攘夷の嵐の中、外国船を打ち払うため大砲が必要で、那珂湊に反射炉(溶鉱炉)をつくり小砂から耐火煉瓦の材料となる陶土を運びました。また日用品となる容器(陶磁器など)もこの陶土を使い七面山(水戸市常磐町)で七面焼を製造しました。

令和4年7月18日  
陶芸教室、茶話会

陶芸教室の作品を修正・  
乾燥・焼成

11月頃完成した碗で  
水戸東照宮で茶話会開催